



# 新公共交通導入の機運高まる

政令都市のなかで、軌道系の公共交通がないのは、新潟市だけだそうだ。このまちは、CO<sub>2</sub>による環境悪化や高齢者などの交通弱者などに、これからどう対応していけば良いのか。車にこんなに頼っていて良いのだろうか。このままで、大和撤退に見られる中心市街地衰退の危機は乗り切れるのだろうか。

今、政令都市5年目を迎えた新潟をどうしていくのか、新潟のまちづくりに多くの市民が関心を寄せ、自らの問題として考え始めている。老若男女を問わず、多くの市民が自ら動き出している。そんな新潟の活性化の切り札として路面電車、モノレール導入の機運が高まりつつある。

一昨年5月に小島たかし後援会総会で新公共交通に関するシンポジウムを開催し、その後路面電車製造工場（新潟トランス）、また国土交通省から担当者を招きセミナーなど開催を重ねてきました。その結果、昨年9月には「新潟に新公共交通をつくる市民の会」が発足しました。精力的にこの動きをリードしてきた小島議員は顧問に就任しています。



会では、昨年11月フランス視察を実施し、ナント市・ストラズブル市の現状を12月報告しています。

一方、新潟市でも新公共交通導入に向けて本格的な調査を開始しました。おりしも、大和デパートの撤退など中心市街地の衰退が大きな問題となってきました。新たな公共交通システムの導入は、市民の移動の利便性だけではなく、中心市街地の活性化策としても注目を浴びるようになりました。また、環境問題（CO<sub>2</sub>削減）、交通弱者救済などの観点からも論議されています。

市の中間報告では、新公共交通システムとして、BRT（専用レーン・停留所のあるバスシステム）、LRT（低床型の路面電車）そしてモノレールが候補に挙がっています。



いずれにしても、利用者は市民です。また、当然ながら導入には財政的な課題が重要なポイントの一つになります。ルート案、システム案が決定していく初期の段階から、市民が参加して合意を得ていく必要があります。

市民のコンセンサスづくりが最大のポイントになるわけです。今後の推移にご注目ください。また、議論の過程に多くの方々に関わっていただきたいと思っています。興味のある方々には「新潟の新公共交通をつくる市民の会」への入会をお勧めします。また、小島後援会としてもあらゆる機会を通じて皆様に経過をお知らせしていきたいと考えています。



入会ご希望の方は裏面にある事務局までご連絡ください。



※後援会事務所は「観光まちづくり」のため古町通のベロタクシーと同じ場所にあります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

〒951-8063 新潟市中央区古町通二番町531番地

小島たかし後援会事務所

電話：025-224-2505

FAX：025-224-2507

Email: [kojima.t@ray.ocn.ne.jp](mailto:kojima.t@ray.ocn.ne.jp)

<http://www.kojima-niigata.com/>

## 県への観光客数、地震前に戻る

新潟県では、昨年1月に小島議員の提案による「新潟県観光振興条例」を施行し引き続き昨年1年を大観光交流年として、県への入り込み観光客数増



加を目指してきました。その結果、数々のイベント（国体、大地の芸術祭、JRデスティネーションキャンペーンなど）あるいはNHKの大河ドラマ（天地人）などの効果とあいまって、前年比6.8%増の7450万人となり、中越大震災まえの平成15年の数値を上廻ることになりました。新潟市だけの延べ宿泊者数も189万人と前年比7.6%増（13万人）となりました。今年は、昨年のようなイベント、観光キャンペーンがなく厳しい年になることが予想されますが、新潟市では最近観光の潮流となっている「まち歩き」「まちなか観光」を中心に力を入れていくことで確実なしかも持続的な観光振興、つまり交流人口の拡大を目指します。

## フランス・韓国視察

昨年11月のフランス、ナント市、ストラスブール市視察に引き続いて、本年3月に韓国、ソウル市を新潟県日韓議員連盟の一員として視察に参加しました。経済不況から脱却しえない日本と違って、韓国は早くも不況を脱して経済が好調です。それを裏付けるかのようにソウル市は、仁川空港の発展、まちなかのインフラの整備、また市民の生き活きとした様子、あるいはお会いした韓国国会議員をはじめとする地方議員の方々の発言など活気に満ち満ちていました。今回のソウル視察の目的のひとつである、新潟・ソウル定期航空路拡充（現行1日1便を2便に増便する）については問題が韓国側ではなく、むしろ

新潟側にあることが判明し、視察参加議員一同は問題解決に向け決意を新たにすることになりました。



(写真：Wikipediaより)

## 6月定例議会で一般質問

6月の定例県議会で小島議員は自身で7度目となる一般質問を行いました。

取り上げた内容は、①空港・港湾に関する諸課題、②地場産業の振興、③県民の健康増進と関連課題でした。

空港関連では、新潟・ソウル便の増便には空港の供用時間の延長が必要であること、また新



規航空路の可能性を取り上げました。地場産業関連では県の積極的な創業支援を訴え、また、健康増進ではウォーキング運動への支援、関連して自転車専用空間の拡充などについて質問を行いました。

詳細は県のホームページをご覧ください。また小島事務所にお問合せください。

## 新潟の新公共交通をつくる市民の会

連絡先：〒951-8063 新潟市中央区古町通二番町531

電話：080-3198-2234 FAX:025-224-2507

Email:kokyokotsu@song.ocn.ne.jp ブログ：<http://kokyokotsu.blogspot.com/>